卒論の予定目次構成 再改訂版

題名 ベーシック・インカムは人々の暮らしを変えるのか

1. 序論
2. ベーシック・インカムの概要
 - ベーシック・インカムとは
 - ベーシック・インカムの歴史、歩み
 - ・アメリカ、イタリア、イギリスの福祉運動の歴史
 - ・諸外国の論者の考えについて
 - ・フリードマンの「負の所得税」について
3. 現在の社会保障の問題とベーシック・インカム導入後にどのような変化が生まれるのか
 - 現行の社会保障の問題点
 - ・生活保護が十分に機能していない
 - ・年金問題
 - 日本の労働環境における社会保障
 - ・「企業中心社会」について
 - 非正規雇用者の増加と社会保障の関係
 - 女性の社会進出と社会保障の関係
 - ・AIによる労働の変化による社会保障の限界
 - 人工知能の出現によって雇用はどのように変化するのか
 - ベーシック・インカム導入後、日本の社会保障の問題はどのように変化するのか
 - ・生活保護とベーシック・インカムの違い
 - 労働インセンティブを低めてしまうのか
 - 貧困の解消になるのか
4. ベーシック・インカムを導入するための財源、ベーシック・インカム導入後の試算
 - 財源をどのように調達するのか
 - ・小沢修司氏の考え
 - ・井上智洋氏の考え
 - ・その他論者の考え
 - 各論者のベーシック・インカム導入後の試算について
 - ・小沢修司氏が著書で述べていた3つの試算
 - ・原田泰氏が著書で述べた試算
 - 年収別、家族構成別にベーシック・インカム導入後の試算
 - ・年収450万円、300万円、800万円、夫婦のみや子どもも有りなど様々な例を取り上げる
 - 月8万円や7万円など給付額についても検証
 - 試算からわかること

・試算結果

5. フィンランドによるベーシック・インカムの社会実験について

- 2017年から2018年にかけてベーシック・インカムの社会実験の結果
 - ・実際に行うことで見えてくるもの

6. 結論

- ・ベーシック・インカムのメリット、デメリット
- 日本でベーシック・インカム導入された時に期待できること
- ・考察、感想

【参考文献】

1. 小沢修司 『福祉社会と社会保障改革 ベーシック・インカム構想の新地平』高菅出版 2002年
2. 萱野稔人、東浩紀、飯田泰之、小沢修司、竹信三恵子、後藤道夫、佐々木隆治『ベーシックインカムは究極の社会保障か 「競争」と「平等」のセーフティネット』堀之内出版 2012年
3. 山森亮『ベーシック・インカム入門』光文社新書 2009年
4. 橋本俊詔、山森亮『貧困を救うのは、社会保障改革か、ベーシック・インカムか』人文書院 2009年
5. 井上智洋『AI時代の新・ベーシックインカム論』光文社新書 2018年
6. 原田泰『ベーシック・インカム - 国家は貧困問題を解決できるか』中公新書 2015年
7. 佐々木隆治ら『ベーシックインカムを問いなおす：その現実と可能性』法律文化社 2019年
8. 古山明男『ベーシック・インカムのある暮らし』ライフサポート社 2015年
9. アニー・ローリー、(翻訳者) 上原裕美子『みんなにお金を配ったら ベーシックインカムは世界でどう議論されているか?』みすず書房 2019年
10. ガイ・スタンディング (翻訳者) 池村千秋『ベーシックインカムへの道 —正義・自由・安全の社会インフラを実現させるには』プレジデント社 2018年
11. 中村秀一『社会保障制度改革が目指しているもの—内閣官房社会保障改革担当室長として考えてきたこと』年友企画 2016年
12. 大沢真理『企業中心社会を超えて—現代日本を〈ジェンダー〉で読む』岩波現代文庫 2020年
13. 山森亮「フィンランド政府が2年間ベーシックインカム給付をして分かったこと」
<https://gendai.ismedia.jp/articles/-/64706>
14. 寺岡寛「フィンランドのベーシック・インカム制度実験」2017年
[file:///C:/Users/user/Downloads/1680103911teraoka-chukyo%20\(1\).pdf](file:///C:/Users/user/Downloads/1680103911teraoka-chukyo%20(1).pdf)
15. 岩永理恵『生活保護と貧困対策 -- その可能性と未来を拓く』有斐閣 2018年